

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七〇七

# 全力で10・20 三里塚へ

今ど、中曽根の戦争政治  
をうちくだく好機

10・20三里塚闘争は、中曽根の戦争政治を打ち砕くための重大な闘いだ。中曽根は、軍事空港づくりのための農地強奪をもって、有事における土地・家屋の徴用⇨戦時徴用の道を開こうとしている。また、国鉄労働者十万の首切りで労働運動を解体し、労働者を戦争へかり出そうとしている。これに黙っていたら大変だ。10・20に総決起し、十一月ストで中曽根打倒へつき進もう。

## 軍事大国化阻止のカナメ ⇨三里塚

中曽根は、五年間の総額一八兆四千万円の新防衛計画を打ち出したが、その考案の基本に従来の「水ぎわでの防衛」から一歩も二歩もふみこんだ「洋上撃破」をかかげ、海・空の戦力強化を目指している。

一方「有事における抵抗能力をつける」ことを目標に、巨大空港建設、地方空港の整備拡大を目指してきた空港整備計画は、今回で第五次を迎えるが、この第五次空港整備計画で政府は、三里塚二期に四千二百億円の予算を計上し、あと五年、一九九〇年完成を打ち出している。

まさに、三里塚二期は、軍事大国化攻撃のカナメである。逆に言えば、今秋の「タイムリミット」を打ち破れば、中曽根の反動的もくろみをぶちこわせる闘いである。

## 農地強奪は 戦争政策そのものだ

中曽根打倒のカナメこそ、三里塚闘争の勝利・国鉄労働者の総決起だ。10・20は、二期阻止と動労千葉支援をかかげた重要な集会だ。われわれのストを、全ての反動をはねのけ貫徹するためには巨万人民の支援・連帯が不可欠だ。全員年休で三里塚へかけつけ、全国の仲間へ訴えよう。五割決起の貫徹こそ十一月スト成功のカギだ。

「五空整」の事業規模	第4次五ヵ年計画 (56年度～60年度)	第5次五ヵ年計画 (61年度～65年度)
	空港の整備	9,300億円
関西国際空港の整備		6,670億円
新東京国際空港の整備		4,210億円
東京国際空港の沖合展開		2,350億円
一般空港の整備		3,600億円
環境対策の推進	5,100億円	2,430億円
航空保安施設の整備	1,800億円	2,340億円
調整費	900億円	
計	17,100億円	21,600億円

毎年突出して増え続ける防衛費。遂にGNP1%枠を事実上突破し、世界第3位の軍事力へむかう。その軸は「航空宇宙産業」に。

▽所要経費	18兆4000億円 (60年度価格)
▽各年度の平均GNP比	1.038%
▽正面装備費	4兆7500億円
▽主要調達兵器	
P3C対潜哨戒機	50機
F15戦闘機	63機
護衛艦	9隻
地对空ミサイル「パトリオット」	5群
導入を検討	
超地平線(OTH)レーダー 次期支援戦闘機(FSX)	
新型ミサイル・システム(エイジス)艦	

**1976 四月期定数補充**

十月十六日の交渉の席上、当局より四月期の定数補充について左記の提案があった。

1.	10月16日	現場通達
2.	10月25日	調書引き上げ
3.	10月中旬	発令
4.	12月20日	精算